



環境・くらし

カセット式ボンベ、ライターなどの捨て方

問 谷和原庁舎生活環境課

☎ 58・2111（内線3304）

中身が残ったカセット式ボンベ、スプレー缶、ライターをそのままごみ収集に出すと、ごみ収集車やごみ処理施設での火災発生の原因となります。

場合によっては、人命にかかわる事故になります。大変危険ですので、中身のガスを残したまま出さないでください。

ごみ収集に出すときは、中身のガスを空にしてから、カセット式ボンベやスプレー缶は必ず穴を開けて資源物（あき缶）として、ライターは不燃ごみとして出してください。

ガスの処分方法

- ◎作業時の厳守事項
- ◆十分に広い屋外で、風通しの良い場所で行う。
- ◆周囲に火の気の無いことを必ず確認する。

【カセット式ボンベの処分方法】

◎注意点

カセット式ボンベの中身はブタンガスです。ガスが入った状態で穴を開けたり、切り込みを

入れると液体が噴出し、事故につながりますので、中身のガスが入っているときは穴を開けないでください。

■ガス抜き作業

- ①キャップを外し、ボンベを逆さまにして、ボンベ先端の突出部（金属製ノズル）を、石やコンクリートなどの硬いものに押し付ける。
- ②ノズルから気化したガスが噴出する。
- ③押し付けるのを止めればガスは止まります。

※未使用の場合、10分程度で抜けます。

③ガスの有無を確認する。

※振ってみて中の音を聞いてください。「シャカシャカ」という液体音がしなくなれば、中身のガスは全部抜けています。

- ④缶に穴を開ける。
- ⑤資源物（あき缶）として出す。キャップは資源物（プラスチック）として出す。

【問い合わせ】

不明な点など問い合わせは、
（社）日本ガス石油機器工業会 力

セットボンベお客様センター

☎ 0120・14・9996（フリーダイヤル）まで。

【ライターの処分方法】

◎注意点

可燃性の高圧ガスが使用されていますので、分解せずにガスを抜いてください。

■ガス抜き作業

- ①周囲に火の気が無いこと、長時間、子どもの手が届かないことを確認する。
- ②操作レバーを押し下げる。着火した場合はすぐに吹き消す。
- ③粘着力の強いテープなどで、押し下げたままレバーを固定する。
- ④「シュー」という音が聞こえればガスが噴出している。聞こえない場合は炎調整レバーをプラス方向にいっぱい動かす。
- ⑤この状態のまま、付近に火の気の無い、風通しの良い屋外に半日から1日置く。
- ⑥着火操作をして、火が着かなければガス抜きは完了。
- ⑦不燃ごみとして出す。

【問い合わせ】

不明な点など問い合わせは、
（社）日本喫煙具協会 ☎ 03・3845・6121まで。

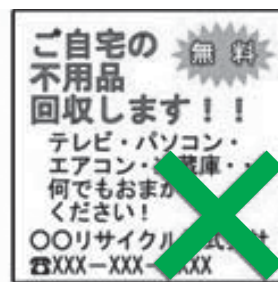


環境・くらし

無許可の不用品回収業者にご注意を！

問 谷和原庁舎生活環境課

☎ 58・2111（内線3304）



チラシ型不用品回収



拠点型不用品回収



トラック型不用品回収

不用になった家電製品を処分するときは、廃棄物処理法の許可を得ない無許可の不用品回収業者には、依頼しないでください。

軽トラックなどで一般家庭や事業者などから戸別回収したり、空き地など特定の場所を指定して持ち込ませたり、チラシを配布したりして使用済みの家電製品などを回収する業者のほとんどは、一般廃棄物収集運搬業の許可や市の委託を受けておらず、廃棄物処理法に抵触するものです。

家電製品にはフロンガスや鉛などの有害物質を含むものがあり、不用品回収業者に回収されたものは、適正な処理が行われているかが確認できません。家電製品は市の分別の手引きに従って処分をお願いします。

また、テレビやエアコン、冷蔵庫・冷凍庫・洗濯機・乾燥機といった家電4品目の回収は、家電リサイクル法のルールに従って処分してください。